

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 飛驒牛銘柄推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 飛驒牛銘柄推進室 銘柄推進係 電話番号：058-272-1111(内 2878)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 900千円（前年度予算額：900千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	900	0	0	0	0	0	0	0	900
要求額	900	0	0	0	0	0	0	0	900
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・飛驒牛の銘柄化を推進するため、昭和62年度に設立された飛驒牛銘柄推進協議会は、食肉関係機関が一体となった組織として、普及宣伝等の活動を通じ、「飛驒牛」の生産振興の一翼を担ってきた。
- ・飛驒牛銘柄推進協議会は、「飛驒牛」の生産基盤を盤石のものとするため、食肉の消費拡大活動や信頼確保事業に取り組んでいる。
- ・飛驒牛銘柄推進協議会の運営は、主に会費で成り立っており、限られた予算の中で、年々増加する課題をこなしていくことは、困難となってきた。

(2) 事業内容

- ・飛驒牛銘柄推進協議会（事務局：全農岐阜県本部畜産販売課）が行う、飛驒牛の普及宣伝等対策事業に対し、助成を行う。

(3) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	900	飛騨牛 PR のための広告等への補助
合計	900	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

飛騨牛銘柄推進協議会は、以下の団体を会員とした「飛騨牛」の生産から流通までを網羅した団体であり、「飛騨牛」ブランドの普及宣伝・PRを目的とする本事業の助成先として妥当である。

【会員】

一般社団法人岐阜県畜産協会
岐阜県肉用牛協会
岐阜県農業協同組合中央会
全国農業協同組合連合会岐阜県本部
岐阜県食肉事業協同組合連合会
岐阜県家畜商協同組合
株式会社 吉田ハム
株式会社 岐阜県畜産公社
飛騨ミート農業協同組合連合会

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	飛騨牛銘柄推進事業
補助事業者（団体）	飛騨牛銘柄推進協議会 （理由）当協議会は生産・流通・販売の関係団体が構成員となっており、「飛騨牛」の銘柄化を推進する団体である。
補助事業の概要	（目的）「飛騨牛」銘柄の推進 （内容）飛騨牛銘柄推進協議会が行う、飛騨牛の普及宣伝等対策事業に対し、助成を行う
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）飛騨牛の普及宣伝にかかる経費の1/2以内 （理由）飛騨牛のブランド化には、県と協議会が連携して推進する必要があることから。
補助効果	飛騨牛ブランド価値の向上
終期の設定	終期令和7年度 （理由）ぎふ農業・農村基本計画の目標年度のため。

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>「飛騨牛」ブランドの信頼確保に取り組むとともに、知名度の浸透を図る各種PR活動によりブランドの価値と知名度を向上させる。</p>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (令和2年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 行事協賛・イベント開催	9	10	10

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	900千円	900千円	900千円	(予算額) 900千円	(要求額) 900千円
指標①目標	4	4	4	4	10
指標①実績	9	10	9	(推計値) 9	(推計値) 10
指標①達成率	225%	250%	225%	(推計値) 225%	(推計値) 100%

(前年度の成果)

- ・ T V ・ 新聞等での消費者への宣伝
- ・ 会報誌・ 宣伝資材等（海外向け含む）による P R
- ・ 各種共進会、大都市圏等でのイベントへの参加を通じた販売促進

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

新規市場開拓に向けた取組みや、信頼性維持のための取組み等、行うべき課題が増えており、効果的に事業を実施するための検討が必要である。

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）

○：必要性が高い、△：必要性が低い

(評価)

○

協議会の運営は、主として会費で成り立っているが、年々増加する課題をこなしてゆくためには財源が限られている。岐阜県は会員ではないが、官民一体で進めるべく協議会設立時から関与してきており、観光資源としても重要な位置を占める「飛騨牛」ブランドを守り、発展させていくために必要な事業である。

・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）

○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている

△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

「飛騨牛」ブランド価値向上に寄与している。

・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）

○：効率化は図られている、△：向上の余地がある

(評価)

○

事業を進めるうえで、最も適した団体に補助が行われている。

(事業の見直し検討)

社会情勢等を踏まえ、県や関連団体等が実施する P R 活動と連携する等、効果的に「飛騨牛」を P R できるように事業内容の検討を行っていく。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・ 削減・ 統合・ 廃止

(理由) 協議会の普及宣伝活動は、飛騨牛ブランドの信頼確保、新規市場開拓において重要な役割を果たしており、事業の継続が必要。